

視察施設概要

(視察施設)

- さがみはらグリーンプール(相模原市立総合水泳場)
- 神奈川県立相模湖漕艇場
- 御殿場市馬術・スポーツセンター
- フクダ電子アリーナ(千葉市蘇我球技場)
- 神奈川県立伊勢原射撃場

(設置者)

相模原市
神奈川県
御殿場市
千葉市
神奈川県

さがみはらグリーンプール

設置者（相模原市）

施設概要

建築面積	10,524 m ²
延床面積	16,127 m ²
構造	地上3階地下1建 RC 一部S
主要施設	50m競泳プール 50m×25m 可動床 飛込プール 25m×22m 可動床 25m競泳プール 25m×17m 固定床
観客席	メイン 2,043 席 立ち見席1,000人相当 サブ 56 席
トレーニング室	328 m ² 大型映像装置
諸室	事務室、会議室、競技役員室2室、放送操作室 貴賓室、医務室、検査室2室、選手控室、記者室、レストラン 等
建設費	8.3億円（うち国費1.5億円・県費9億円）
補助採択	社会体育施設整備費補助金（文部科学省）

経緯

平成10年に第53回国体「かながわ・ゆめ国体」の開催が決定し、相模原市が新たに競技用プールを建設して水泳の主会場となった。

平成6年12月 工事着手

平成9年5月 供用開始

収支状況【H24】

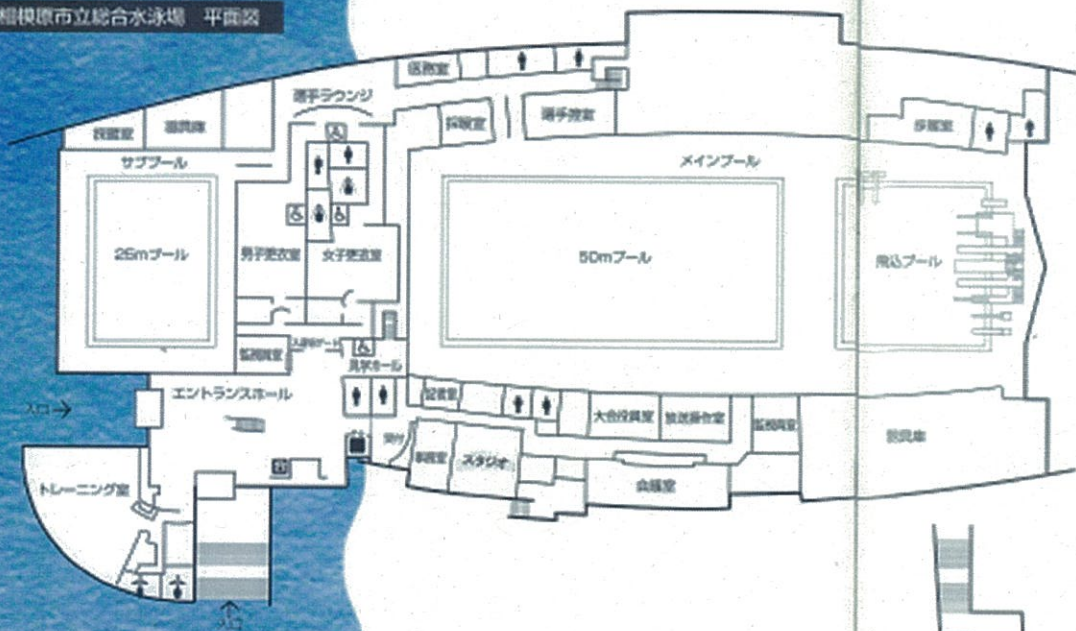
収入		支出		収支差
市委託料	257,580	人件費	128,008	
利用料金収入	57,600	事務費	137,925	
スポーツ振興事業等収入		管理費	67,464	
	38,946	スポーツ振興事業等		
喫茶室等収益	5,841		37,759	
合計	359,967	合計	371,156	-11,189

利用状況【H25】

		利用者数
プール	一般	193,798
	専用	84,455
	事業	22,814
トレー ニング室	一般	74,621
	専用	52
スタジオ		15,968
合計		391,708

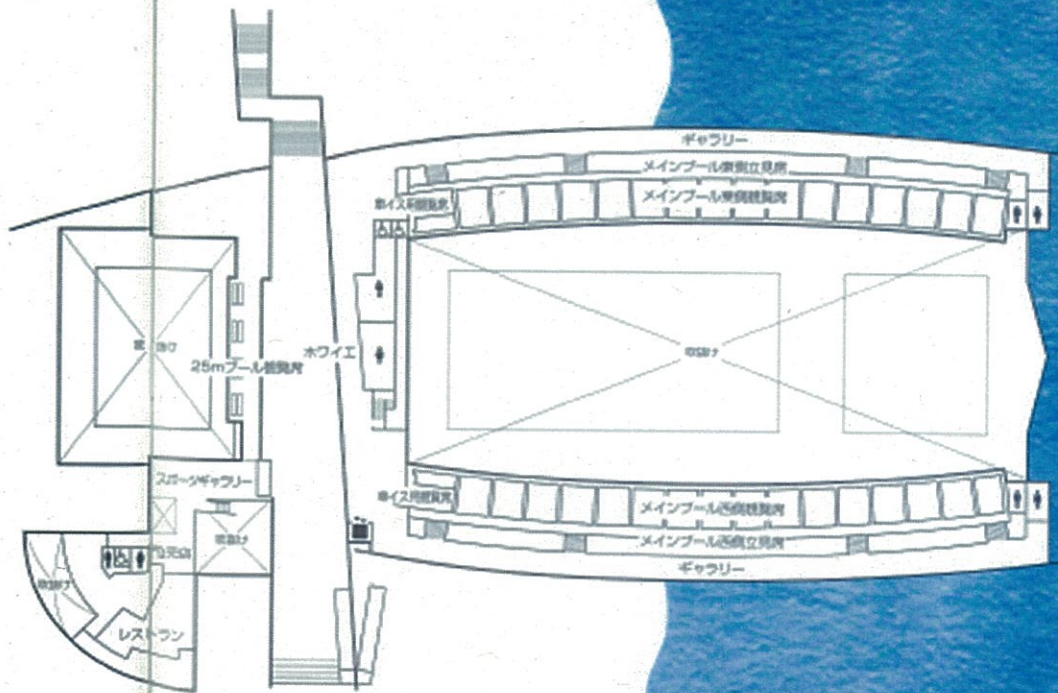
さがみはらグリーンプール

榎根原市立総合水泳場 平面図



1F
平面図

2F
平面図



2 mm

神奈川県立相模湖漕艇場

設置者（神奈川県）

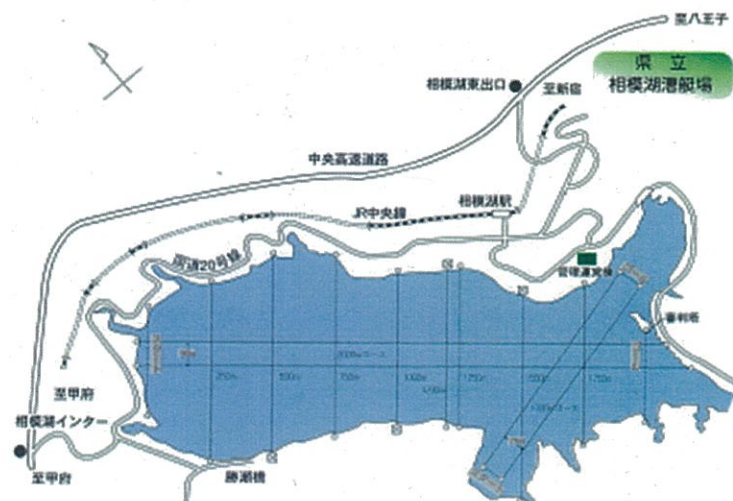
経緯

昭和38年	供用開始
昭和39年	東京オリンピック カヌー会場
平成6年1月	新管理運営棟、艇庫整備
平成9年3月	平成10年開催「かながわ・ゆめ国体」の漕艇競技会場として、新1000mコース整備

施設概要

コース	2000m 6コース	
	1000m 6コース	
審判塔	203 m ²	審判判定室、記録室、審判員室
艇庫	2,197 m ²	226 艇 更衣室、シャワー室
管理運営棟	1,015 m ²	事務室、医務室、トレーニング室、記録室、応接室、本部室、研修室、展望広場

案内図・コース図



御殿場市馬術・スポーツセンター

設置者（御殿場市）

施設概要

第1競技場 走行路 6m×420m
 120m×80m 一般観覧席 1,000席
 選手・関係者観覧席 500席
 審判棟 器具庫2棟

第2競技場 審判棟
 75m×58m

屋内競技場 放送室
 75.5m×34m 一般観客席 700席

円形馬場 2箇所
 直径16m

管理棟 管理室、会議室、資料室、医務室、事務室、来賓室、研修室

厩舎 S厩舎1棟 24馬房（3m×3.6m／1馬房） G厩舎10棟180馬房・20馬具庫（2.7m×3.6m／1馬房）

装蹄所、ホースマネージャー棟、ビニールハウス、トイレ、大駐車場、管理棟前駐車場

経緯

平成15年に静岡県で開催された「NEW!!わかふじ国体」の馬術会場として整備された。

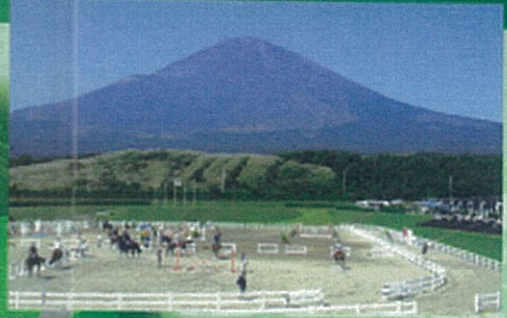
平成16年7月 供用開始
 平成20年6月 ナショナルトレーニングセンター馬術強化拠点施設に指定

利用状況【H25】

	回数	利用者数	観客人数	利用頭数
競技会	27	9,407	10,715	8426
馬術合宿	54	831	289	657
ナショナルトレーニング	19	986	750	840
馬術以外	17	1,912	2,490	
合計	81	10,238	11,004	9,083

Gotemba Horseman and Sports Center

御殿場市馬術・スポーツセンター Map



馬術場



厩舎



管理棟



第二乗技場



夜間乗技場

施設概要

建築面積	16,037 m ²
延床面積	34,890 m ²
スタンド面積	12,007 m ²
座席数	18,500 席
構造	地上4階建 (2.5m) 下部 RC・SRC・S 上部屋根架構S
屋根	アルミハニカムパネル
大型映像装置	W10m H6m
芝床	サンド構造、自然排水方式
特徴	スタンド・ピッチ間隔最短 8m 屋根はスタンドの9割をカバー 芝採光用に屋根の一部にポリカーボネイト採用 照明メタルハイドランプを屋根軒先に設置 (照度1,500ルクス)
球技場建設費	8.1億円 (国費9億円・市債6.6億円・一財6億円)
補助採択	都市公園事業費補助金 (防災公園)

経緯

蘇我特定地区整備計画の策定、大規模工場遊休地の活用、ジェフホームタウンの千葉市への広域化を受け、整備を行った。

平成14年2月	都市公園都市計画決定
平成14年6月	球技場基本設計発注
平成14年11月	球技場基本設計概要公表
平成15年2月	球技場実施設計発注
平成15年4月	球技場実施設計概要公表
平成15年6月	球技場事業認可
平成15年8月	都市基盤整備公団への建設工事委託協定締結
平成17年10月	供用開始

収支状況【H25】

収入		支出		収支差
市委託料	110,601	人件費	25,695	
利用料金収入	42,845	事務費	26,648	
		管理費	101,103	
合計	153,446	合計	153,446	0

フィールド利用状況【H25】

	利用者数	利用件数
アマチュア以外	247,891	36
アマチュア	62,605	43
減免	836	2
合計	311,332	81

蘇我スポーツ公園
整備計画平面図



未整備区域

スケートパーク
スケートボード、インライン
スケート、BMX

第4駐車場
乗用車303台

第3多目的グラウンド
ゴルフ系ニュースポーツ(パーク・グラウンド・
ケージバードゴルフ)

第2多目的グラウンド(南)
軟式野球・リトルリーグ1面

第2多目的グラウンド(北)
(H26年度整備、H27.4供用開始予定)
少年野球・ソフトボール2面

フクダ電子フィールド(H26.4供用開始)
サッカー2面、ラグビー1面、少年野球・ソフトボール2面を
兼用)

第2多目的グラウンド(南)
少年野球・ソフトボール4面



A1 S=1:2000
A3 S=1:4000

伊勢原射撃場

設置者 (神奈川県)

施設概要

敷地面積	124,112 m ²		
建物等	ライフル射撃場	第1	小口径、空気銃
		第2	小口径、空気銃、大口径
クレー射撃場	クレー射撃場	クレー管理棟	
		スキート射場	2面
		トラップ射場	3面
その他	火薬庫、倉庫等		

経緯

平成10年に第53回国体「かながわ・ゆめ国体」の開催が決定し、神奈川県において全面改築を行い、射撃競技の主会場となった。

昭和47年	横浜市金沢区から移転新築
平成6～9年	全面改築
平成14年4月	休場 (周辺環境への被害未然防止) 「県立伊勢原射撃場あり方検討会議」の答申後再開
平成16年4月～ 平成 ²⁵ 年4月	環境対策工事 (鉛汚染土壌処理、騒音対策) 再開場

収支状況【H25】

収入		支出		収支差
利用料金収入	34,460	事業費	10,094	
事業収入	28,802	管理費	54,591	
指定管理料	0	その他	4,408	
合計	63,262	合計	69,093	-5,831

利用状況【H25】

		利用者数
クレー		9,332
ライフル	A R	1,874
	小口径	2,235
	大口径	2,175
	ビーム	2,132
合計		17,748

